「新型コロナウイルス感染症対策に係るアンケート結果報告」

安房医師会　会　長　原　徹
医療介護連携理事　小林　剛
田中　かつら

1. 目的　新型コロナウイルス感染症について、安房地域の介護サービス事業所が課題を抱えている事項等を把握し、安房医師会と可能な範囲での連携や在宅介護問題の解決などを目的に実施した。

2. 方法　安房地域において介護サービス事業所等を運営する事業所に対するアンケート調査。（鴨川市については、4 月上旬に同様な調査を実施しているため未実施。鴨川市にて回答のあった意見を一部追記し安房地区全体の現状とした）。

アンケート期間　令和 2 年 4 月 18 日～24 日　7 日間

方　　法　　安房地区事業所へのメールの他、FAX 等により実施。

3. 結果　回答

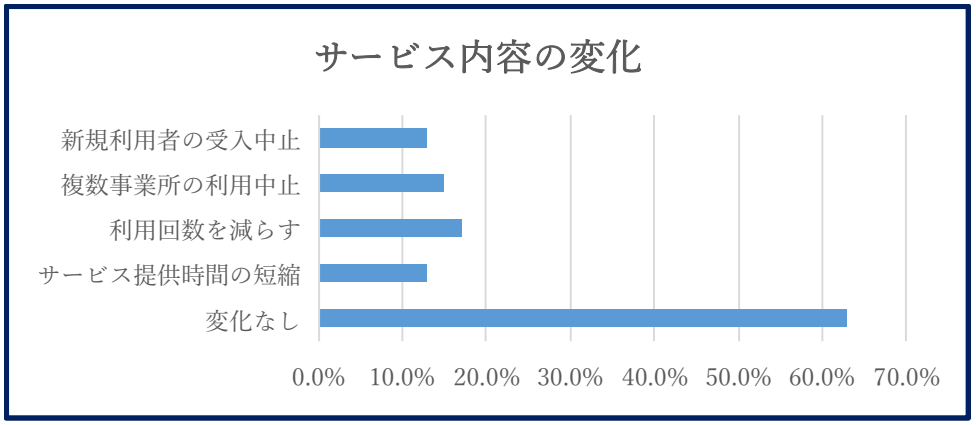
館山	41
南房総	44
鋸南町	9
	94

＊事業所単位でなく、法人単位での回答も可としており全体に対する回答率は不明。

【参考】事業所単位では 250 事業所

4. アンケート報告

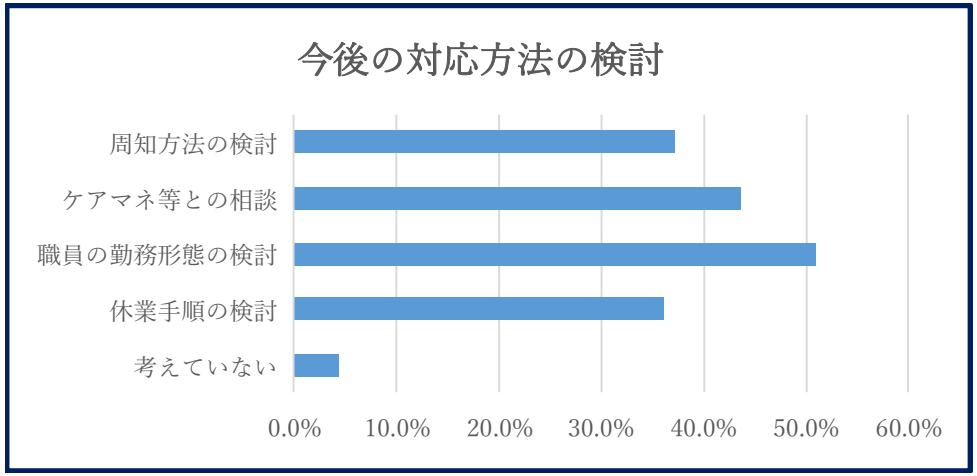
①サービス内容の変化



その他　訪問の制限、営業日の縮小、テレワーク導入

調査日時点においては、一部市のみ感染者が発生してのみであったため、サービス内容に関する事項については大きな変化は見られなかった。ただ、感染拡大前からの対策として、サービス調整を行い始めており、一部に支障が出始めているとと思われる。

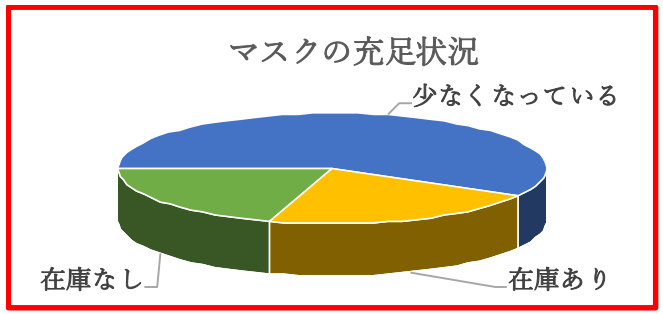
②今後の対応の変化

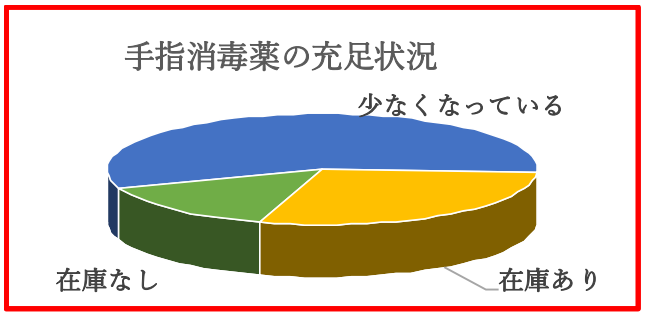


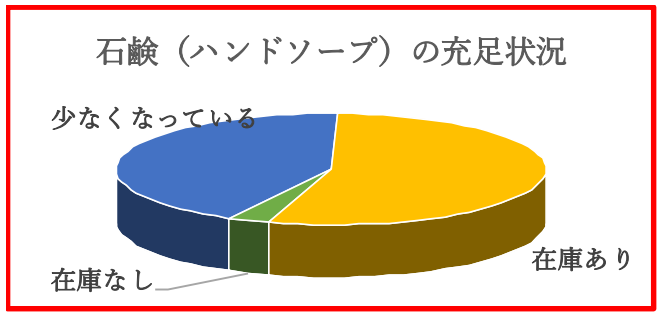
その他　他事業所を聞きたい、市からの要請により休業

事業所における今後の対応については、ある程度検討し始めている。特に職員の勤務形態の検討や休業に向けて、どのような対応を行っていくかを検討し始めている。事業所の休業にあたっては、利用者への支援を検討する必要があるためケアマネジャーとの相談が必要。

③衛生物品の充足状況







衛生物品については、のきなみ不足しておりマスク、手指消毒薬が著しく不足傾向ある。マスクと手指消毒薬の在庫がない事業所も存在しており、購入ができない状況となっている。

④影響していることや安房医師会に要望することなど

【影響が出ていること】

・感染があったり、疑わしい状況になった場合に、サービスを停止するにはどのような基準など対応の判断が難しい。
・訪問介護でも日々の検温は徹底しているが、電池が手に入らず、切れたら検温はできなくなります。
・不安を感じて中止する方がいる。消毒、手洗い、テレワーク、時差出勤にて対応。保健所の他に早急な対応をお願いします。
・サービス休止とした場合に在宅サービスはどうなるのか？　在宅生活が困難な場合に SS や入院等の検討
・感染者が発生した場合の明確な報道がなく、いろいろな噂が出て対応に困った。各種補助金や消毒薬の配布をお願いしたい。
・複数事業所の利用を１カ所に変更する調整に苦慮している。
・これまでに経験がなく、どうなるか不安です。
・身近で感染が確認されたため、感染を心配して利用をキャンセルする方が出てきています。
・厚労省の布マスクは清潔を保つことが難しいため、介護施設へもサージカルマスクの納入をお願いしたい。
・緊急事態宣言が発令されてから、通所サービスは１カ所に変更。また、５月６日まで休みとなった利用者も数名いる。
・入所者の面会制限が長期化しており、いつまで続くのか心配しています。
・一部で他の事業所と併用利用している方は一事業所の利用になるように調整はしています。
・マスクも徐々に流通していますが、価格が高いため、施設として現時点での購入が良いのか日々検討しています。
・コロナ感染者の情報について、県の HP 等から情報収集している。デマ情報も多く、正確な情報が入るといい。
・長期間にわたり面会を中止しているため、面会や外出などがいつからできるか等の問い合わせが増えている。
・訪問を拒否される利用者の状況把握が出来ず心配。
・家族より自主的な利用自粛や都内在住の家族が帰省できない。
・生活リズムが崩れたことにより、認知症の利用者様の言動等に多少の影響が出ています。
・訪問を控えてほしいと要望されている利用者がいる。
・保険者の要請・医療情報を正しく知らせてもらいたい。精神的に疲れてた。
・事業所内の消毒用品の調達に費用がかかる。利用者が心配して休止するほか、本人や家族も購入できなくて困っている。
・感染拡大の前に、人の接触を減らすために休業を検討している。
・面会謝絶状態であるが、入居者から近隣への外出を求められている
・職員の勤務体制を分けている。南房総市内において感染者が発生し、サービス中止やヘルパー車両が通行するため訪問を断られた。
・利用者、従事者への感染が心配なので休業している。
・受け入れ制限を行う事業所もあり、長期化した場合の生活の質の影響

・安房地域での感染拡大となった場合、利用者の安否、職員の安全確保、対策物品の更なる不足や、休業について社内でも話し合いを続けております。訪問介護はヘルパー不足で急場をしのげる余力はありません。人も金もない現場でどうしろというのでしょうか？
　ヘルパーが行かなければ生活自体が成り立たず命さえ危険に陥る方もいるなかで、人が足りないからと他事業者に入ってもらうわけにもいかず、なんとかするしかないという気持ちと、どうにもならないというあきらめの中でぎりぎりで運営をしています
・コロナウイルス感染症の情報をタイムリーにしてほしい。在宅利用者への感染予防策を教えてもらいたい
・休止する利用者が増えている。速やかな情報の提示をお願いしたい。
・自主的にサービス休止している方が増えている。
・通所サービスの長期中止やショートステイの受入れ中止により入所となる方がいる。
・感染症予防を理由にお休みする利用者もなく経過していましたが、都内や県北での感染拡大および全国各地で発生している医療機関や介護施設などでのクラスター事案、また週末のたびに市内へ来訪する観光客の増加に不安を覚え、今月下旬より期間を限定して利用回数減、時短でのサービス提供とすることとしました（延長の可能性有）市内での発生は避けて通れないものと思い感染者を出さないことよりいかにクラスターを出さないかというフェーズに考え方を移行しました。安房地域での感染拡大は=死者の増大につながります。個人的には通所サービスは中止（もしくは最低限の利用）にしたほうが良いと考えており、そのための通知も厚労省から発せられているところです。しかしながら他の業種同様に「補償」がついてまわります。命を守らなくてはならないと思う一方でスタッフの生活など人件費や家賃など考えると営業せざるを得ない状況でもあります。
・当法人の職員においては、外出自粛要請に応じ対応しています。
法人の管理体制として、職員および同居家族に発熱や風邪症状が見られた場合、感染症罹患の判断がつかないため感染拡大対策として出勤停止をしている。利用者についても同様に利用自粛をお願いしている。適切な運営体制、適切なサービスが継続できるよう、PCR 検査の速やかな実施を行う体制づくりにぜひ尽力をお願いしたい。
・物品の確保が難しく困っている。
・訪問業務のためどこで罹患してもおかしくない状況に不安を持つ職員は多い。また、物資が不足（上記内容以外に、N95 マスクやガウン、ゴーグル、フェイスシールドはない状況）している状況下に於いて、在宅の場合の予防策をどこまで実施したら良いかと戸惑う事も多い。通所系サービスが短縮利用や休止対応となった際に訪問系サービス事業所に係る不安や負担は大きい。万が一事業所が営業休止となった場合、在宅利用者の生活をどこが・誰がサポートしてくれるのか、行政のご協力がいただけるのか等が知りたい。

【医師会や保健所などへの要望】

・職員や入所者・通所者に陽性が出た場合の対応がわからず、不安です。発熱者が出た場合、感染を最小限に抑えるためにも、すぐにPCR検査を受けられる体制にしていただけるとありがたいです。
・PCR検査の迅速な対応をお願いしたい。
・感染が拡大した時に利用者や家族が感染した時の対応方法や、スタッフが感染又は濃厚接触者になり訪問が出来なくなった時の協力体制を検討できたらと思います。
・安房医師会としてコロナウイルス対策をご享受いただきたい。
・体調不良時の対応について、主治医との相談の他に、休日の相談体制がると助かります。
・医師会には代理受診や処方のみを理解いただいて助かっています。
・薬管理等のサポートやかかりつけ医との連携や相談体制が課題だと思う。
・介護が抱えている不安や問題を、医療と共に話し合いながら、情報等共有をしていきたい。
・消毒液がない。サービス利用者の減少。診察や検査が1カ所でできるよう医師会として対応してもらいたい。
・介護難民が発生した場合に医療機関での受け入れ態勢（医療依存度が高い人）を確保していらいたい。
・介護サービスが継続できるよう、また職員、利用者の安全性確保のため、速やかにPCR検査が実施できる体制作りをお願いしたいです。
・通常の受診が通常の病院で行えるよう、町の診療所がコロナで閉鎖とならぬよう、コロナを疑う患者が増えてきたら別途発熱外来(新型コロナ外来)を設けて対応するのが良いと思います。病院とは別の建物（テント、プレハブ、空き施設など）を使用することで院内への感染を防ぐことができます。患者が発生した場合、行動歴を追って立ち寄った人や濃厚接触の疑いのある人もその外来に訪れることで地域の診療所を守ることもできます。発熱者が様々な病院を訪れてあちこちの病院の外来が閉まってしまうこと院内感染は避けなければなりません。（今現在はそうならないよう保健所が交通整理しているかと思いますが）
また感染疑いのある濃厚接触者や検査結果待ちで、認知症の方も含めた介護が必要な方、独居生活者、いわゆる自宅で一人で待機できない人の待機施設（ホテル等の借り上げ）も感染者が増えてきたら必要かと思います。病院で足りているうちは良いかもしれませんが感染が拡大してきたら、そのような施設も必要かと思います。